

# 子LAB自己評価結果表

回答率 12 / 12

実施日 2021年 3月 1日

自己評価Ver. 1.0

		チェック項目	自己評価			チェック項目	自己評価	
広報活動	①	施設の特徴や支援内容等に関し、広報が適切に行われているか	3.5	適切な支援の提供	④	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3.8	
		改善目標 工夫している点	パンフレットの内容を更新した方がよい			改善目標 工夫している点	未就学児のカンファレンスから細かいプログラム調整をしていけるような体制を作っている。	
	②	保護者の主な利用目的と施設の支援、活動が繋がりをもっているか	3.8		⑤	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	3.7	
改善目標 工夫している点		見学・説明の際に自由遊びを通して支援することや指導や矯正ではなく、理解や週の大人の導き方を考える支援をしていると伝えるようにしている。	改善目標 工夫している点			未就学児のカンファレンスから細かいプログラム調整をしていけるような体制を作っている。		
③	利用希望者や関係各所の見学を受け入れる体制は適切に確保されているか	3.8	⑥		平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3.7		
	①	サービス内容/重要事項/個別支援計画の説明は適切に行われたか			4.2	⑦	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせてサービス計画を作成しているか	3.3
契約時対応	改善目標 工夫している点	サインをもらう際にあまり時間がないこともある。	⑧		支援開始前に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		3.9	
	環境・体制整備	①			利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3.6	⑨	支援終了後に職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか
②		職員の配置数は適切であるか	3.9		⑩	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		3.3
③		事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4.4			⑪		定期的なモニタリングからサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。
業務改善	①	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参画しているか	3.3				⑫	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか
	②	保護者等へアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3.5		①			サービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか
	③	虐待防止について定期的な研修を行っているか。	4.1	改善目標 工夫している点				
	④	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	3.8	②	学校との情報共有(年間計画・行事予定、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4.0		
	⑤	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4.7		改善目標 工夫している点	・訪問支援事業の開始で学校との情報共有ができるようになった ・自動の支援が充実するようになっている		
	⑥	職員の資質向上のために行う、研修の機会を確保しているか	2.8	③	医療的ケアが必要な子供を受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4.1		
改善目標 工夫している点		・潜在的なニーズ(何を研修で学びたいか決めかねている。言い出せていない等)の職員へのフォローができていなかった。 ・多くの研修に参加している	改善目標 工夫している点					
適切な支援の提供	①	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しているか	4.5	④	就学前に利用した保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3.7		
		改善目標 工夫している点	・毎週カンファレンスがある		改善目標 工夫している点	事例なし		
	②	子どもの適応行動の状況を図るために標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4.1		⑤	学校を卒業し、障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4.1	
改善目標 工夫している点	Vinelandと併用して就学や訪問支援で使えるタイムリーな状況が成長のアセスメントツールを作っていく予定。	改善目標 工夫している点	・機会自体がなく、発言する場所がない。 ・機会がない ・助言や研修はない					
③	アセスメントの適切な実施の方法、解釈が行われているか	3.9	⑥	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3.0			
	改善目標 工夫している点			改善目標 工夫している点	・1年目は参加していたが、2年目以降は子どもの障がい福祉施設は参加の必要がないとして協議会に参加できない ・参加させてもらえない2件			

関係機関や連携	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3.3
	⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	4.5
保護者への説明責任等	①	改善目標	・ペアトレの前段階のペアプロ実施に向けて数年前から行動しているが、市行政が実施推薦状を提供してくれない ・行おうとしている
		工夫している点	
	②	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3.1
	③	子どもに対し行われたアセスメントについて結果や解釈などを適切に保護者に伝えられているか	3.8
	④	改善目標	・今年度はコロナで開催できなかった ・コロナの影響で実施が難しくなっている ・コロナでR2粘土はできなかった
		工夫している点	
	⑤	保護者の子育ての悩み等に対し相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4.1
	⑥	改善目標	提起の懇談以外にも必要時に面談などを提案・提供している。
		工夫している点	
	⑦	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	4.4
	⑧	苦情に関し対応体制整備、子どもや保護者へ周知、迅速で適切な対応ができていますか	3.4
	⑨	定期的な会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対し発信しているか	3.9
⑩	改善目標	ネットワーク管理が難しい	
	工夫している点		
⑪	個人情報に十分注意しているか	4.0	
非常時等の対応	⑫	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3.6
	⑬	改善目標	・クリスマスリースの提供などで事業所の事業や活動を知ってもらう機会を作った ・コロナでできていない
		工夫している点	
	⑭	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	4.2
	⑮	改善目標	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか
		工夫している点	
⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他の必要な訓練を行っているか	2.8	
⑰	改善目標	保護者には避難時の対応など、契約時に説明する以外はしていない	
	工夫している点		
⑱	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3.5	
⑲	改善目標	年1回以上研修を行っている。	
	工夫している点		
⑳	改善目標	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し、了解を得た上で、サービス計画に記載しているか	
	工夫している点		
㉑	改善目標	・肢体不自由児の車いすからの滑り止めなどのためのシートベルトなどは記録しているが、計画にも記載していく。 ・今までしたことなし	
	工夫している点		
㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	4.1	
㉓	改善目標	食事提供はないがアレルギー情報は保護者から提供を受けている。	
	工夫している点		
㉔	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3.7	
㉕	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3.9	